

2014年4月21日

株式会社小学館
九州旅客鉄道株式会社



「ななつ星」物語～めぐり逢う旅と「豪華列車」誕生の秘話～発売



2013年10月15日運行を開始した豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」。日本初のクルーズトレインはどのようにして誕生したか。ノンフィクションライター一志治夫氏によって明かされる開発秘話『「ななつ星」物語～めぐり逢う旅と「豪華列車」誕生の秘話』が発売されます。

- 発売日 2014年4月23日ごろ
- 著者 一志治夫
- 出版社 小学館
- 定価 本体1,400円＋税
- ISBN 978-4-09-388354-2



<本の概要>

2013年10月15日、豪華寝台列車『ななつ星 in 九州』が運行を開始しました。定員30人、14室すべてがスイートという7両編成の列車にかけられた製造費はおよそ30億円。豪華客船が寄港地を巡るように、列車の旅と観光を組み合わせた日本で初めてのクルーズトレインです。九州5県を周遊する3泊4日のコースと九州北部を周遊する1泊2日のコースで運行され、ひとり約18万円～70万円という破格の料金にも関わらず、半年先まで予約が完売。この夢の列車はどのように開発されたのか。四半世紀に渡ってJR九州の観光列車を手がけてきたデザイナーの水戸岡鋭治とJR九州社長・唐池恒二が目指した世界に輝く列車は、その豪華さからは想像もできないような苦難の末に誕生しました。「手間こそが感動」と妥協を許さない唐池と水戸岡の斬新なアイデアによって設計と仕様は何度も変わり、その度に現場は大混乱に陥りました。車両製造の技術者、内装の職人、サービスクルー、宿泊と食を任された沿線の人々が、「犠牲を伴わないものに感動はない」と言い切る水戸岡の情熱に挑んだ熱き魂の物語です。豪華な車内と食事、沿線の絶景が凝縮された16ページの口絵付き。